

妙安寺だより 376

テレフォン法話 電話092-751-6084 (月曜日に話が変わります)

読みかじり・聞きかじりシリーズ 8

「七五三の」 儀式料理で最高のものとされています。本膳（七種）、二の膳（五種）、三の膳（三種）のほかにもあって、一人前十五膳がなる。

「赤穂浪士」で知られるには、この七五三が出ますが、勅使と將軍と三人の大名がするので、七十五膳となり、現在の価格にすると何百万円もかかるといわれています。

今回は、宗門的に主な「数字の三」がついたものを列記してみました。

万歳三唱や、法話の始めと最後に唱えるお題目三唱の三に、意味はあるのかといわれれば多分ないでしょう。しいて言えば、一度であれば物足りない。四～五度であればだらけてしまうからでしょう。

法華經の三大思想 ①久遠本仏（仏さまの永遠の救い） ②一乗妙法（真実の教えは一つ）

③菩薩行道（法華經の布教）

三 大 部 ①立正安国論（国家救済を説いた諫暁の書） ②開目抄（法華經の伝道者としての内省と自覚を吐露） ③観心本尊抄（法華經の修行方法について説かれた）

※観心本尊抄＝正しくは如来滅後五五百歳始観心本尊抄といえます。

三大誓願 末法の世の日本を救うために、日蓮聖人が一命を捧げる決意（誓願）を述べたもの。

「我、日本の柱とならん。我、日本の眼目とならん。我、日本の大船とならん」

三大秘法

日蓮聖人は、信仰する対象者として「本門の本尊＝釈迦牟尼仏」を、人間と本尊が交わる契機として「本門の題目＝南無妙法蓮華經」を、そして、本尊と人間とが感応する場所を「本門の戒壇」と決めました。

地涌の声・功德主募集

平成28年度の「地涌の声・功德主」を募集しています。（1月・5月・6月・10月は申込み済み）

ご希望の方は、1カ月5,000円を添えて、希望月の2カ月前までに申し込み下さい。

同じ月に希望が重なった場合は、先着順になりますので、第2希望月もあわせてお知らせください。

※FAXにても、申し込みいただけます。（FAX番号 751-4055）